

Japan Homestay Program レポート(和訳)

MNCCホームステイ・プログラムを通して日本で過ごしたこの経験は、私が一生忘れることのないものです。出会った人々、食べた料理、作った思い出——それらは、この経験の中で決して忘れないもののほんの一部にすぎません。私は、これから先もずっと友人でい続けたいと思えるほど多くの友人を作ることができました。ホームステイ先の家族から、通わせていただいた学校の廊下で出会った人たちまで、出会ったすべての人が、これまでに出会った中で最も優しい心を持った人たちでした。

日本へ向かう飛行機に乗ったとき、正直なところ、私は行くことを後悔し始めました。家族から離れ、これまでで最も遠い場所へ、完全に一人で行くことになったからです。事前に会ったこともないホストファミリーに、大きな信頼を預けなければなりませんでした。離陸した瞬間、そのことに気づき、怖さがこみ上げてきましたが、この経験を心から楽しむためには、信じることが必要だと自分に言い聞かせました。

最初のホストファミリーに会ったとき、手作りの歓迎ボードと温かい笑顔で迎えてくれました。飛行機の中で感じていた不安は、その瞬間にすっと消えていきました。家へ向かう途中、初めてコンビニに立ち寄ったのですが、この体験が驚くほど強く印象に残っています。日本での最初の体験であり、ホストブラザーと一緒に過ごした時間でもありました。店内を歩きながら、さまざまな食べ物や商品を眺め、「本当に日本に来たんだ」と実感が湧いてきました。そのとき、喜びが一気に押し寄せ、できる限り多くのことを体験しようという気持ちになりました。

2週間の間に参加し、楽しみ、体験したことの量は、すべてを書こうとすれば、このエッセイは少なくとも5倍の長さになるでしょう。数行でまとめてしまうことは、正直とても難しいです。出会った一人ひとりとの具体的な思い出、体験した多様な文化の違い、鹿児島で訪れた場所の数々——それらに対する喜びを、言葉だけで十分に伝えることはできません。

3つのホストファミリーの皆さん、本当にありがとうございました。一緒に料理をしたこと、動物たちと過ごした時間、鹿児島のいろいろな場所へ連れて行ってくれたこと、そのすべてに心から感謝しています。皆さんはとても思いやりにあふれていて、いつか必ず、全員とまた会えることを願っています。それが2週間であっても、たった1日であっても、将来また再会し、近況を語り合いたいと強く思っています。

訪問した学校で出会った友人たちも、この旅を特別なものにしてくれました。皆さんは、わざわざ英語を話す必要がないにもかかわらず、笑顔で声をかけてくれました。特に授業で一緒にいたクラスの皆さんには、本当に親切で、学校で過ごす一分一分を楽しく、興味深いものにしてくれました。放課後に見学した部活動は、特に心に残っています。日本の部活動は本当に素晴らしい、アメリカにもあったらしいのにと思いました。学年やクラスが違って、普段なら出会えなかつたであろう生徒たちとも、部活動を通して知り合うことができました。たとえ数分しか一緒に過ごせなかつたとしても、その存在は私にとってとても大切で、決して忘れる事はありません。

最後に、この機会を与えてくれたプログラムの皆さんに、心から感謝します。このプログラムがなければ、これほど多くの温かい人たちと出会うことはありませんでした。すべてのスタッフの方々が、私や他のアメリカから来た学生のために、この機会を実現してくれたのだと思います。日本滞在中も、私たちが最高の経験をできるよう、信じられないほど尽力してくださいました。ホストファミリーの一つが病気になった際には、ご自宅に泊めていただくなど、本当に想像以上の支えをしていただきました。皆さんはこの経験のために、期待以上のことをしてください、私は一生そのことに感謝し続けます。

いつか日本に戻り、皆さん全員にまたお会いできることを願っています。私がいない間も、どうか元気で、そしてお体を大切にしてください。また会える日を心から楽しみにしています。